

国際石油開発帝石株式会社
2017年3月期 第2四半期
決算説明会

2016年(平成28年)11月14日



1. 事業活動報告

代表取締役社長
北村 俊昭

2. 2017年3月期 第2四半期決算説明

取締役 専務執行役員
財務・経理本部長
村山 昌博

当プレゼンテーションは、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

当プレゼンテーションに掲載される情報(将来予想に関する情報を含む)を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

事業活動報告

代表取締役社長
北村俊昭

事業活動ハイライト(1/2)



■ 2017年3月期 第2四半期決算	- 連結売上高 3,896億円(前年同期比31.3%減) - 純利益157億円(前年同期比65.4%減)
■ 主要プロジェクト	- イクシスLNGプロジェクト ➢ 沖合施設(CPF/FPSO)・陸上施設(LNGプラント)等の開発作業を推進 ➢ 作業進捗率: 約90% - アバディLNGプロジェクト ➢ 早期のプロジェクトの実現を目指し、最適開発について政府当局と協議中 - カシャガン油田 ➢ 生産再開
■ ネット生産量	- 日量52.4万BOE(前年同期比4%増)
■ 原油価格下落への 取り組み	- 探鉱・開発投資の削減、生産コストの削減継続

上流事業の持続的拡大

- 島根県及び山口県沖合における掘削調査(基礎試錐)の開始(6月)
- インドネシア タンゲーLNG拡張プロジェクトの最終投資決定(7月)

ガスサプライチェーンの強化

- 富山ライン一部供用開始(7月)、全体の供用開始(10月)
- 中部電力との「電力卸販売の共同実施に向けた基本合意書」に基づき新たに都市ガス事業者3社との電力卸販売に関する合意 (9月)

再生可能エネルギーへの取り組み強化

- 福島県磐梯地域における地熱開発掘削調査の開始(6月)
- インドネシア サルーラ地熱発電事業、商業運転開始に向け推進

イクシスLNGプロジェクト(1/3)

INPEX

最後の陸上施設用モジュールの搬入完了
(2016年9月)



LNGトレインの建設
(2016年9月)



- 確認埋蔵量約9.3億 BOE (当社権益比率62.245%ベース)
 - 生産量(予定)
 - LNG年間約890万トン
 - LPG年間約160万トン
 - コンデンセート日量約10万バレル(ピーク時)
 - 権益比率:当社(オペレーター)62.245%、TOTAL 30.000%、
東京ガス 1.575%、大阪ガス 1.200%、JERA 0.735%、東邦ガス 0.420%、
CPC社 2.625%、関西電力 1.200%
 - 2012年1月に最終投資決定(FID)
 - 作業進捗率:約90%
- 2015年9月発表内容
 - 生産開始予定:2016年末⇒2017年第3四半期(7月-9月)
 - 投資額:10%程度増加
 - LNG生産能力:当初の年産約840万トン⇒年産約890万トン(約6%増加)

イクシスLNGプロジェクト(2/3) 沖合施設

INPEX

沖合施設のFID以降～2017年第3四半期の作業見通し

2012	2013	2014	2015	2016	2017(1月～9月)
------	------	------	------	------	-------------

詳細設計・資機材の調達

ガス輸送パイプラインの敷設

CPFおよびFPSOの建造、フィールドへの曳航準備

沖合施設の設置・繋ぎこみ・試運転

生産井掘削・仕上げ作業

生産
開始



沖合生産・貯油出荷施設(FPSO)建造の様子(2016年9月)



沖合生産・処理施設(CPF)建造の様子(2016年8月)

イクシスLNGプロジェクト (3/3)

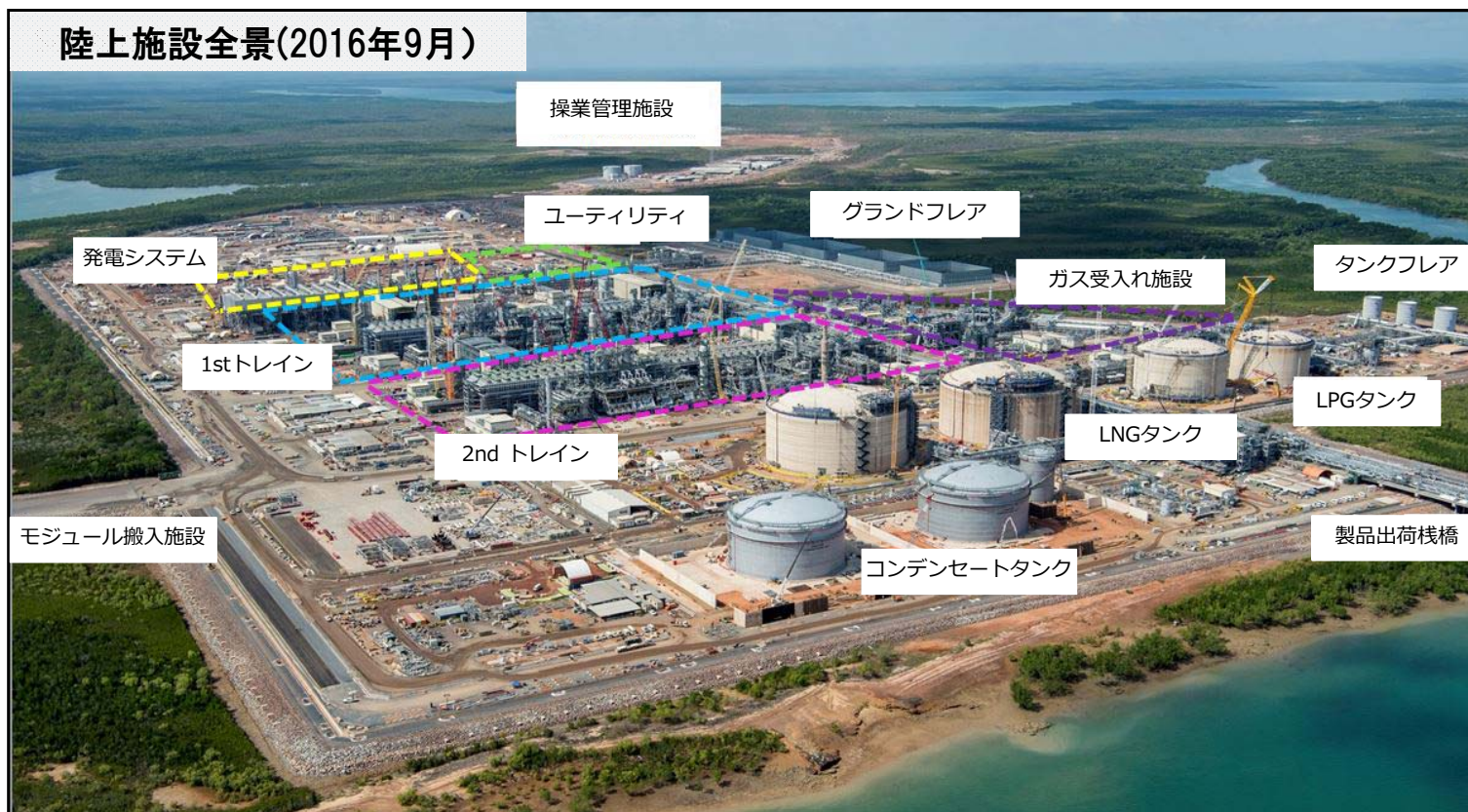
陸上施設



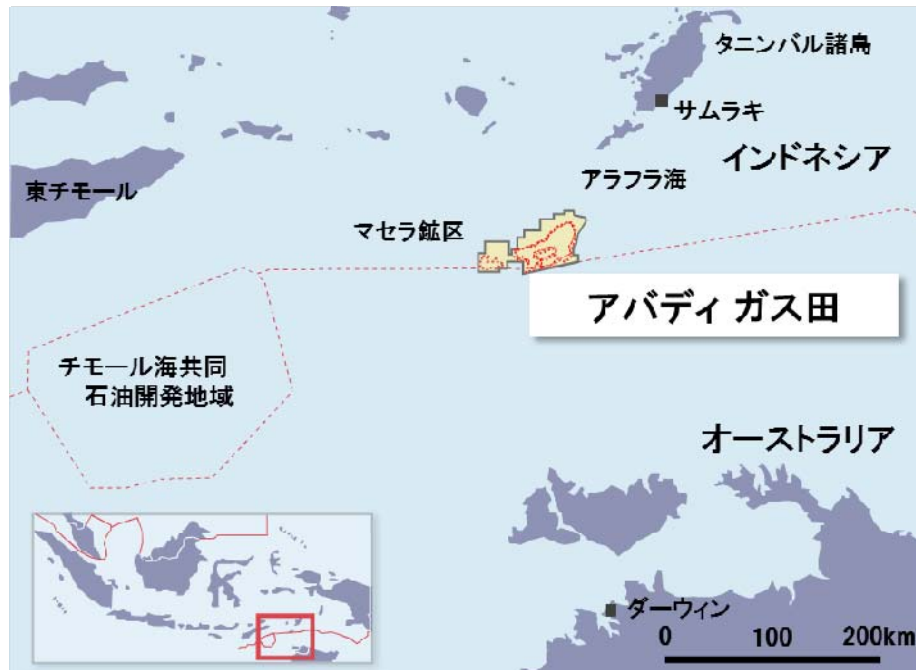
陸上施設のFID以降～2017年第3四半期の作業見通し

2012	2013	2014	2015	2016	2017(1月～9月)
詳細設計・資機材の調達					
LNGプラントモジュールの建造					
タンク・発電設備・出荷用棧橋等の建設					
LNGプラントモジュールの搬入・据付・組立					
試運転					

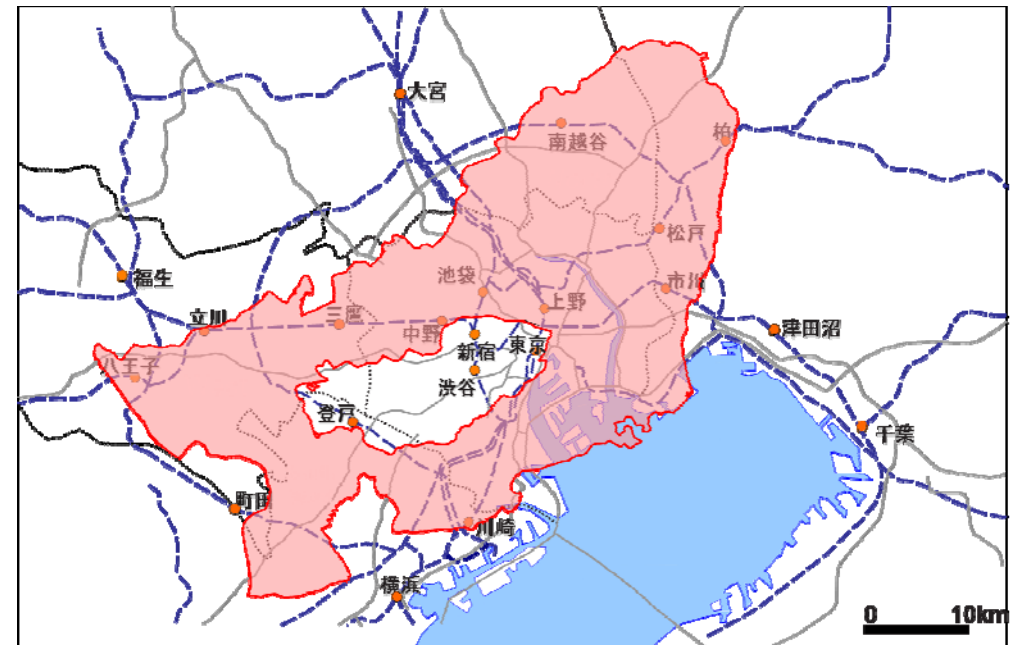
生産
開始



アバディLNGプロジェクト



マセラ鉱区のロケーション



アバディガス田 (イメージ)

- 2016年4月、インドネシア政府当局より陸上LNGによる開発計画の再検討を求める内容の通知を受領
- 早期のプロジェクトの実現を目指し、アバディガス田の最適開発について政府当局と協議中

主要上流事業の進捗

■カザフスタン：カシャガン油田



- 生産再開、2016年10月より原油出荷
- 2017年にかけて日量生産量約37万バレルへ増加
- 原始埋蔵量で350億バレルの原油を有し、世界でも有数の巨大油田

■インドネシア：タンゲーLNGプロジェクト

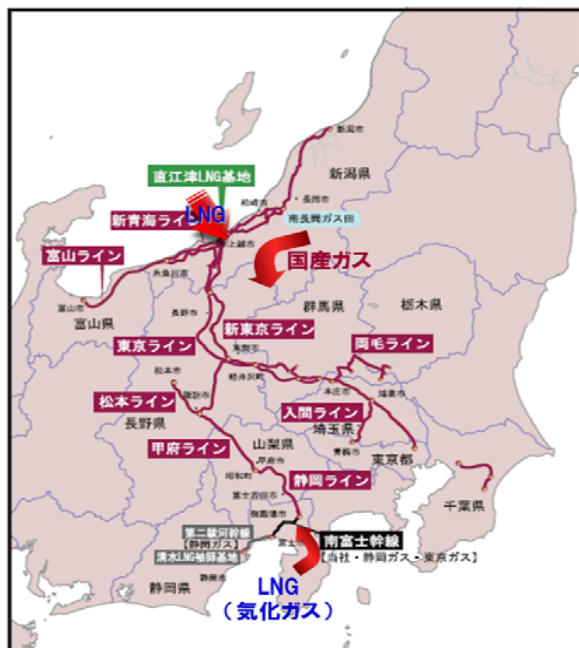


- 2016年7月、第3トレイン増設に関する最終投資決定
- 2020年中の生産開始を目指す
- 既存の生産に加え、年間380万トンのLNG生産能力を追加
 - 75%相当分はインドネシア国営電力会社PT. PLN社へ販売
 - 25%相当分は関西電力株式会社へ販売

ガスサプライチェーンの強化および 再生可能エネルギーへの取り組み強化

INPEX

国内天然ガス事業



- 2016年6月 富山ライン完成
 - 2016年7月、日産化学工業へ供給開始
 - 2016年10月、日本海ガスへの供給開始
- 天然ガス販売
 - 2016年3月期販売量: 17.5億m³*
 - 2017年3月期販売量見通し: 19.3億m³*

地熱発電事業

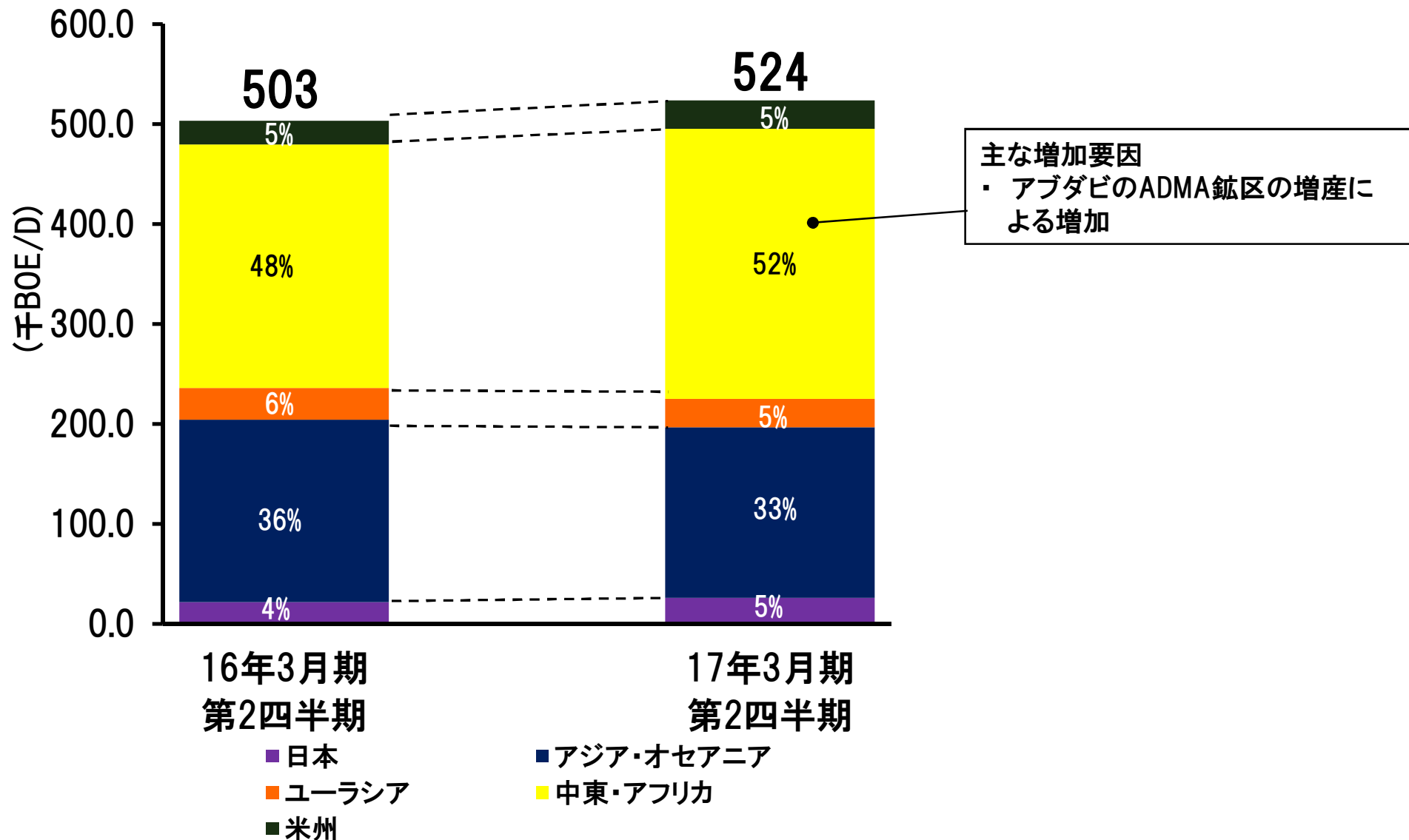


サルーラ地熱IPP事業

- インドネシア：サルーラ地熱IPP(独立系発電事業者)事業
 - 出力約 330MWの地熱発電所は世界最大規模
 - 2016年度内に1号機の運転開始見込み、その後段階的に2号機および3号機の運転開始を目指す

* 1m³当たり41.8605MJ換算

2017年3月期 第2四半期 ネット生産量*

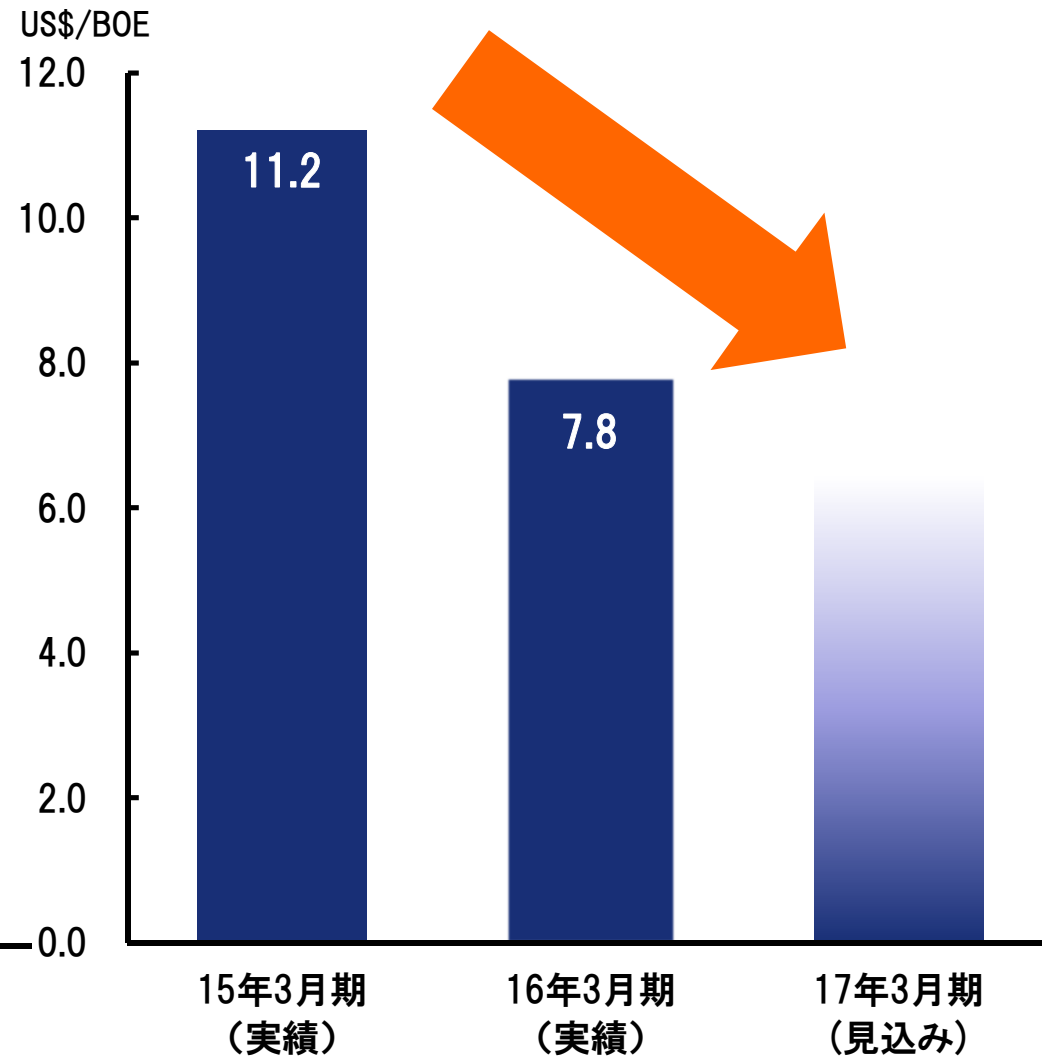
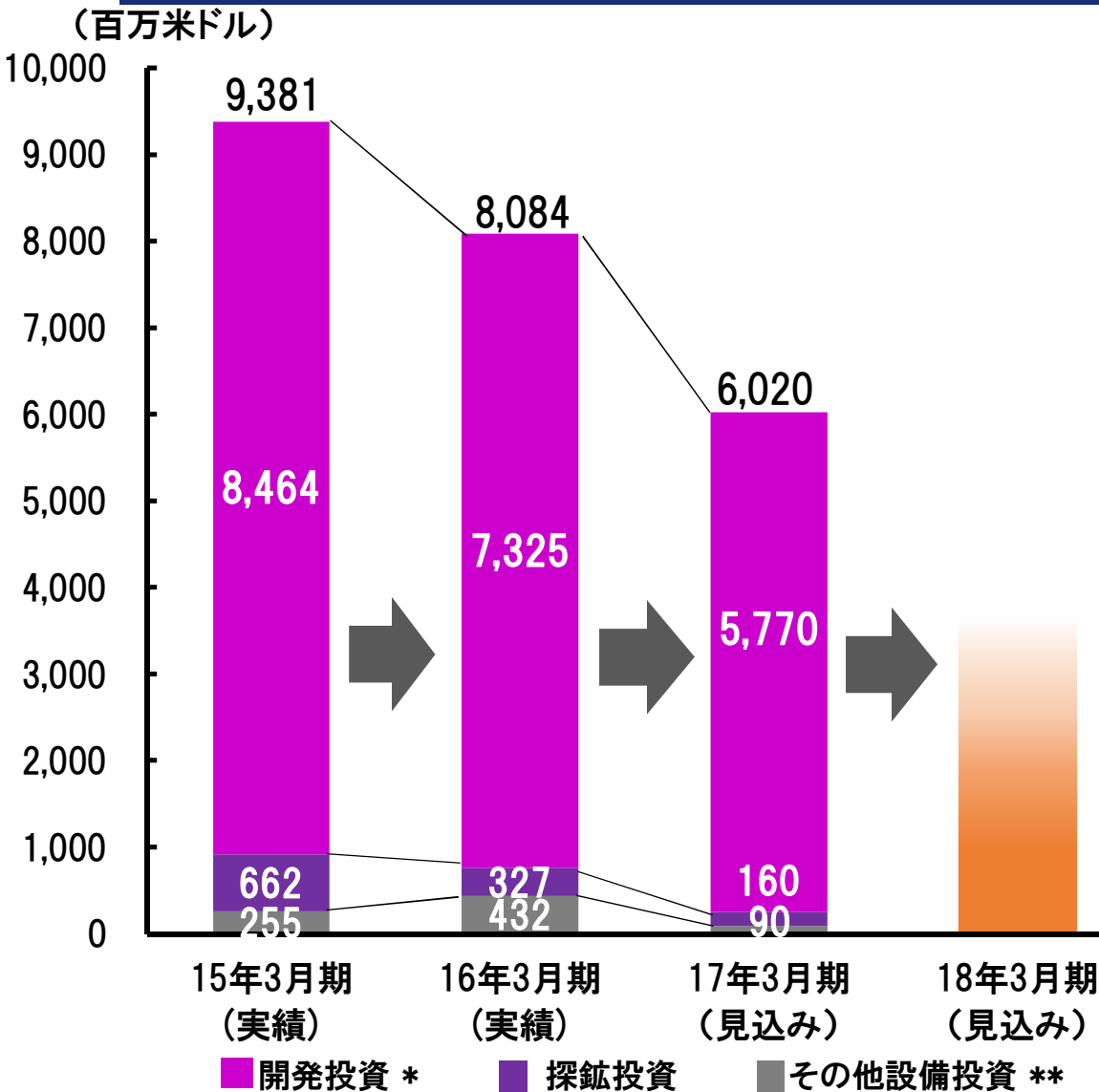


原油価格下落への取り組み



2015年3月期から2018年3月期までの推移

原油換算1バレル当たりの生産コスト***



* 開発投資額にはイクシス下流事業を含む ** 主に直江津LNG基地、国内パイプライン関連施設等への投資 *** ロイヤルティを除く

2017年3月期 第2四半期決算説明

取締役

専務執行役員

財務・経理本部長 村山昌博

2017年3月期 第2四半期決算ハイライト



	16年3月期第2四半期 (2015年4月-9月)	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	増減	増減率
売上高 (億円)	5,670	3,896	△1,773	△31.3%
原油売上高	3,968	2,758	△1,210	△30.5%
天然ガス売上高(LPG含む)	1,633	1,080	△552	△33.9%
その他	68	57	△10	△15.2%
営業利益 (億円)	2,467	1,380	△1,087	△44.1%
経常利益 (億円)	2,588	1,321	△1,266	△48.9%
親会社株主に帰属する 純利益 (億円)	454	157	△297	△65.4%
1株当たり純利益 (円)	31.15	10.77	△20.38	△65.4%

期中平均株式数(連結)2017年3月期第2四半期 1,460,357,186株

期中平均油価(Brent) (\$/bbl)	57.31	47.01	△10.30	△18.0%
期中平均為替 (¥/\$)	121.88	105.26	16円62銭円高	13.6%円高

原油売上高

	16年3月期第2四半期 (2015年4月-9月)	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	増減	増減率
売上高 (億円)	3,968	2,758	△1,210	△30.5%

販売量 (千bbl)	57,805	59,970	2,164	3.7%
海外平均単価 (\$/bbl)	56.52	43.08	△13.44	△23.8%
国内平均単価 (¥/kl)	47,043	32,003	△15,041	△32.0%
平均為替 (¥/\$)	121.36	106.65	14円71銭円高	12.1%円高

地域別販売量 (千bbl)	16年3月期第2四半期 (2015年4月-9月)	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	増減	増減率
日本	290 (46.2千kl)	415 (66.0千kl)	125 (+19.9千kl)	43.0%
アジア・オセアニア	6,837	6,548	△289	△4.2%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	6,028	6,260	232	3.8%
中東・アフリカ	43,963	45,734	1,771	4.0%
米州	687	1,012	325	47.4%
合計	57,805	59,970	2,164	3.7%

天然ガス売上高(LPG除く)

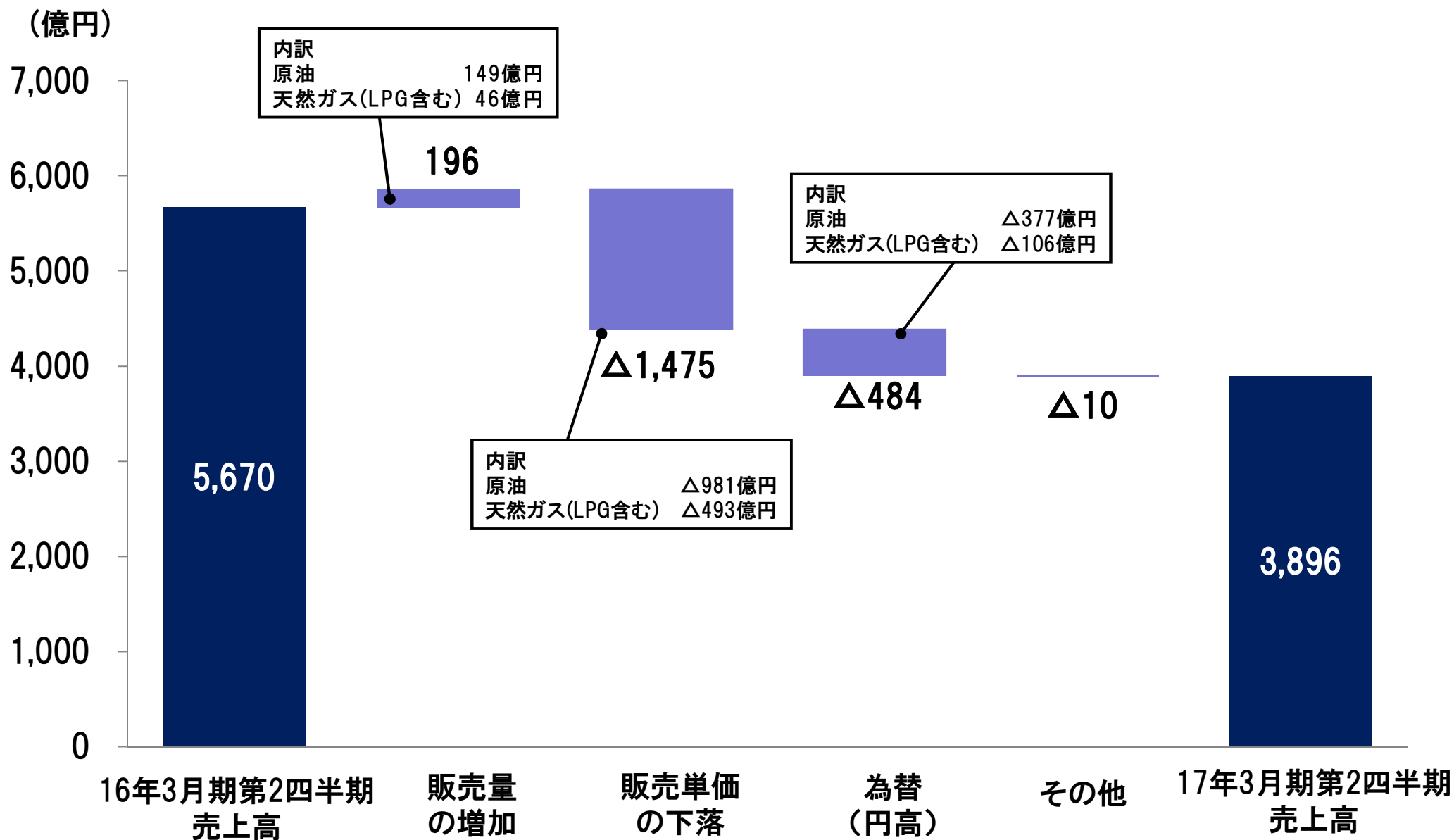
	16年3月期第2四半期 (2015年4月-9月)	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	増減	増減率
売上高 (億円)	1,577	1,043	△533	△33.8%
販売量 (百万cf)	160,634	165,837	5,204	3.2%
海外生産分平均単価 (\$/千cf)	7.23	4.83	△2.40	△33.2%
国内分平均単価 (¥/m ³)	54.72	43.88	△10.84	△19.8%
平均為替 (¥/\$)	121.23	105.87	15円36銭円高	12.7%円高
地域別販売量 (百万cf)	16年3月期第2四半期 (2015年4月-9月)	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	増減	増減率
日本	28,725 (770百万m ³ *)	29,523 (791百万m ³ *)	798 (+21百万m ³ *)	2.8%
アジア・オセアニア	114,556	118,646	4,090	3.6%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	-	-	-	-
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	17,353	17,668	315	1.8%
合計	160,634	165,837	5,204	3.2%

※ なお、LPGの売上高は以下の通り。

	16年3月期第2四半期 (2015年4月-9月)	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	増減	増減率
売上高 (億円)	55	36	△19	△34.7%

*1m³当たり41.8605MJ

2017年3月期第2四半期 売上高 増減要因分析



損益計算書

(億円)	16年3月期第2四半期 (2015年4月-9月)	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	増減	増減率
売上高	5,670	3,896	△1,773	△31.3%
売上原価	2,735	2,101	△634	△23.2%
売上総利益	2,934	1,795	△1,139	△38.8%
探鉱費	40	24	△16	△39.8%
販売費及び一般管理費	425	389	△35	△8.4%
営業利益	2,467	1,380	△1,087	△44.1%
営業外収益	398	164	△234	△58.7%
営業外費用	278	223	△54	△19.7%
経常利益	2,588	1,321	△1,266	△48.9%
法人税等合計	2,195	1,074	△1,120	△51.0%
非支配株主に帰属する純損益	△61	89	151	-
親会社株主に帰属する純利益	454	157	△297	△65.4%

販売量の増加	+196
販売単価の下落 為替(円高)	△1,475 △484
その他	△10

原油売上原価：	1,416
(増減)	△459
天然ガス売上原価 ^(注) ：	630
(増減)	△169
(注)LPGを含む。	

主な要因	
有価証券売却益の剥落	(増減 △114)
為替差益の剥落	(増減 △91)

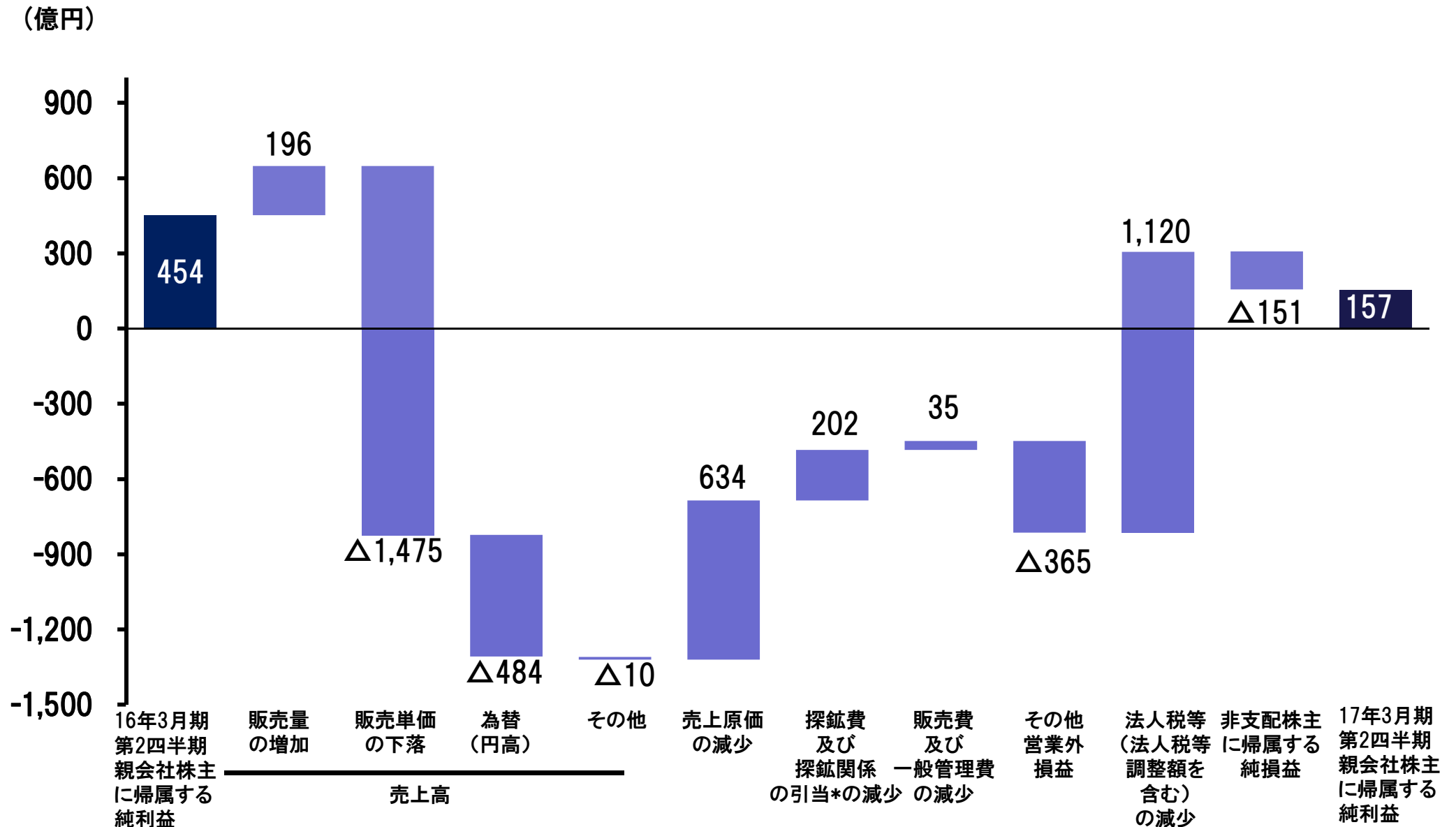
主な要因	
生産物回収勘定引当金繰入額	(増減 △169)
探鉱事業引当金繰入額	(増減 △16)
為替差損	(増減+171)

営業外収益・費用

(億円)	16年3月期第2四半期 (2015年4月-9月)	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	増減	増減率
営業外収益	398	164	△234	△58.7%
受取利息	42	51	8	19.7%
受取配当金	25	13	△11	△46.4%
有価証券売却益	114	-	△114	-
為替差益	91	-	△91	-
その他	124	99	△24	△19.7%
営業外費用	278	223	△54	△19.7%
支払利息	21	24	2	9.8%
持分法による投資損失	9	4	△4	△53.3%
生産物回収勘定引当金繰入額	180	10	△169	△94.3%
探鉱事業引当金繰入額	16	-	△16	-
為替差損	-	171	171	-
その他	50	12	△37	△74.1%

2017年3月期第2四半期 純利益 増減要因分析

INPEX



貸借対照表

(億円)	16年3月期末	17年3月期 第2四半期末	増減	増減率
流動資産	9,843	9,333	△510	△5.2%
有形固定資産	17,526	17,162	△363	△2.1%
無形固定資産	5,414	4,974	△440	△8.1%
生産物回収勘定	7,277	7,147	△130	△1.8%
その他	4,954	3,021	△1,932	△39.0%
生産物回収勘定引当金	△1,317	△1,333	△16	1.2%
資産合計	43,698	40,305	△3,392	△7.8%
流動負債	3,191	2,620	△571	△17.9%
固定負債	8,719	7,676	△1,042	△12.0%
純資産	31,788	30,009	△1,778●	△5.6%
(うち非支配株主持分)	2,459	2,472	13	0.5%
負債・純資産合計	43,698	40,305	△3,392	△7.8%
1株当たり純資産額 (円)	2,008.34	1,885.66	△122.68	△6.1%

活用可能な手元資金残高※
7,685億円

・現預金 7,496億円
・活用可能な投資有価証券 189億円

※現在計画している投資に充当される
待機資金

イクシス下流事業会社(持分法適用)
の要約財務情報(100%ベース、内当
社株式比率は62.245%)

・流動資産 506億円
・固定資産 2兆5,492億円
・総資産 2兆5,999億円

その他の包括利益累計額 △1,817億円

・その他有価証券評価差額金 △11億円
・繰延ヘッジ損益 +33億円
・為替換算調整勘定 △1,839億円

キャッシュフロー

(億円)	16年3月期第2四半期 (2015年4月-9月)	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	増減	増減率
税金等調整前純利益	2,588	1,321	△1,266	△48.9%
減価償却費	351	432	81	23.3%
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	268	372	104	38.8%
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	△293	△15	278	△94.7%
法人税等の支払額	△2,267	△1,104	1,162	△51.3%
その他	329	159	△169	△51.5%
営業活動によるキャッシュフロー	976	1,166	189	19.4%
定期預金の預入による支出/払戻による収入	2,579	1,663	△916	△35.5%
長期預金の預入による支出	△638	-	638	-
有形固定資産の取得による支出	△2,439	△1,431	1,007	△41.3%
有価証券・投資有価証券の取得による支出/売却による収入	1,242	△1	△1,244	-
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△402	△243	159	△39.6%
長期貸付けによる支出/回収による収入	△1,922	△654	1,267	△65.9%
権益取得による支出	△1,336	-	1,336	-
その他	△214	△93	120	△56.2%
投資活動によるキャッシュフロー	△3,131	△762	2,368	△75.7%
財務活動によるキャッシュフロー	469	△264	△734	-
現金及び現金同等物の期末残高	909	625	△284	△31.3%

2017年3月期 第2四半期 業績予想値と実績値との差異

INPEX

◆前提条件

(2016年8月4日)	第2四半期連結累計期間 (前回発表予想)
Brent 油価(\$/bbl)	46.0
為替レート(円/US\$)	106.6

↓

(2016年11月11日)	第2四半期連結累計期間 (実績)
Brent 油価(\$/bbl)	47.0
為替レート(円/US\$)	105.3

◆ 第2四半期連結累計期間 業績予想値と実績値との差異(2016年4月～9月)

	前回発表予想 (2016年8月4日)	実績値	増減	増減率
売上高 (億円)	3,950	3,896	△53	△1.4%
営業利益 (億円)	1,360	1,380	20	1.5%
経常利益 (億円)	1,280	1,321	41	3.3%
親会社株主に帰属する純利益 (億円)	100	157	57	57.3%

2017年3月期 連結業績予想の修正



◆前提条件

(2016年8月4日)	上期	下期	通期
Brent 油価(\$/bbl)	46.0	45.0	45.5
為替レート(円/US\$)	106.6	105.0	105.8



(2016年11月11日)	上期	下期	通期
Brent 油価(\$/bbl)	47.0※1	50.0	48.5
為替レート(円/US\$)	105.3※2	105.0	105.1

※1 第1四半期実績\$47.0/bbl、及び第2四半期実績\$47.0/bblによる。 ※2 第1四半期実績108.2円/\$、及び第2四半期実績102.4円/\$による。

◆ 連結通期業績予想(2016年4月～2017年3月)

	前回予想 2016年8月4日	今回予想 2016年11月11日	増減	増減率
売上高 (億円)	7,970	8,300	330	4.1%
営業利益 (億円)	2,570	2,830	260	10.1%
経常利益 (億円)	2,510	2,840	330	13.1%
親会社株主に帰属する純利益 (億円)	170	260	90	52.9%

◆ 1株当たり配当金

	第2四半期末	期末(予想)
2017年3月期 (円)	9	9